

【第15回市場公募地方債発行団体合同IR説明会】

日時：平成28年10月21日(金)

会場：東京国際フォーラム

平成28年度広島市IR資料

広島市財政局財政課



目 次

（広島のまち）

国際平和文化都市・・・・・・・・・・	1
行事・スポーツ・・・・・・・・・・	3
観光（世界遺産等）・・・・・・・・・・	4
市の産業・・・・・・・・・・	5
市の概要・・・・・・・・・・	6
交通アクセス・・・・・・・・・・	7
市のまちづくり・・・・・・・・・・	8

（財政状況と健全化への取組）

「財政運営方針」の達成状況・・・・・・・・	17
特別会計・企業会計決算の状況・・・	18
一般会計の市債発行額と残高の推移・	19
歳入構造・・・・・・・・・・	20
歳出構造・・・・・・・・・・	21

市税収入決算の推移・・・・・・・・	22
基金残高の推移・・・・・・・・	23
健全化判断比率の状況・・・・・・・・	24
プライマリーバランス・・・・・・・・	25
新たな「財政運営方針」の概要・・・・・・・・	26
主な出資団体の経営状況・・・・・・・・	27

（広島市の資金調達）

起債運営方針・・・・・・・・	29
平成28年度発行計画・・・・・・・・	30

国際平和文化都市

～世界恒久平和の実現に向けて～

オバマ大統領広島訪問



今年 5 月
現職米大統領として初めて広島を訪問

“あの日の朝の記憶は決して風化して
はならない”（演説抜粋）

G7 外相会合



今年 4 月
核軍縮・不拡散へ向け
「広島宣言」を採択

国際平和文化都市

～世界恒久平和の実現に向けて～

平和首長会議



昨年11月、広島市において
第5回国内加盟都市会議総会を開催

原爆ドーム



原爆の子の像



平和記念公園



行事・スポーツ

フラワーフェスティバル
(5月3日～5日)



平和記念式典
(8月6日平和記念公園)



とうろう流し
(8月6日元安川)



MAZDA Zoom-Zoomスタジアム 広島



サンフレッチェ優勝パレード



観光(世界遺産等)

～広島観光名所～

原爆ドーム (世界遺産)



厳島神社 (世界遺産・廿日市市)



世界平和記念聖堂
(戦後建築物初の重要文化財)



平和記念資料館 (戦後建築物初の重要文化財)



広島城



入込観光客数 (平成27年)
1,199万7,000人

(うち外国人観光客
102万9,000人)

11年連続で1,000万人
を上回り5年連続で
過去最高を更新

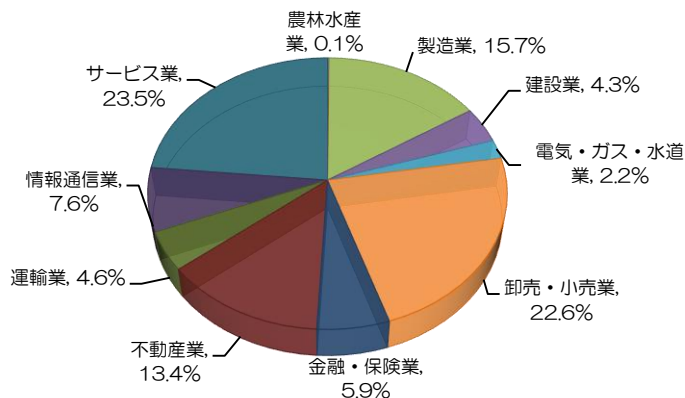
(外国人観光客数も大幅増
となり過去最高)

市の産業

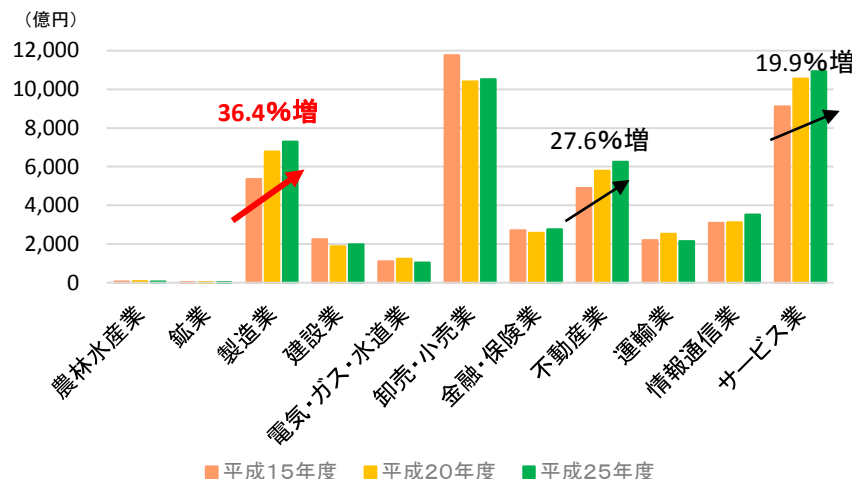
～中四国の中枢都市～

広島市の産業構造

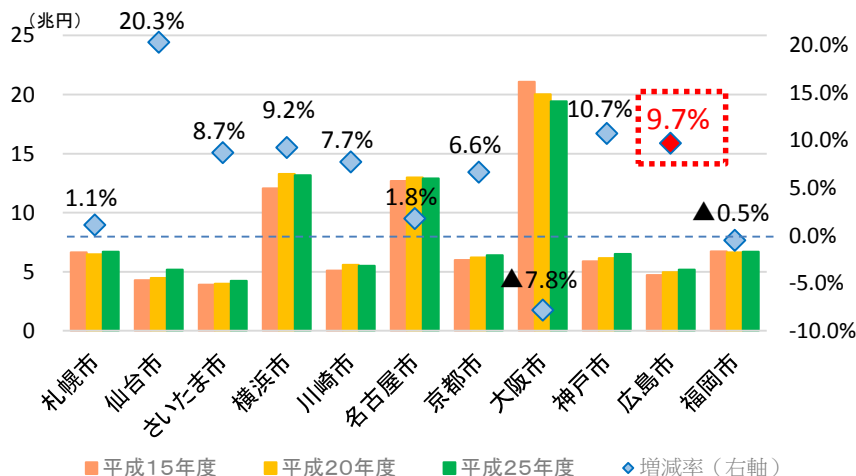
広島市 産業別市内総生産(平成25年度)



広島市 市内総生産(産業別)の10年間比較



政令指定都市 市内総生産(全産業)の10年間比較



- 産業別市内総生産をみると、中枢都市の特徴としてサービス業、卸売・小売業および不動産業の割合が高く、それに加え製造業の割合が高いことが広島市の特徴となっている
- 産業別に10年間で市内総生産を比較すると、製造業の伸びが著しく36.4%増となっている
- 市内総生産は、約5.2兆円(平成25年度)であり、中規模程度なものの、平成15年度より9.7%増加しており政令指定都市(人口100万人超)において11都市中3番目の伸びとなっている

広島市の産業構造は、卸売・小売業やサービス業などの中枢都市としての特徴を持ちつつ、製造業が基幹産業となってそれらの産業を支える構造となっている

※人口100万人以上の政令指定都市と比較。

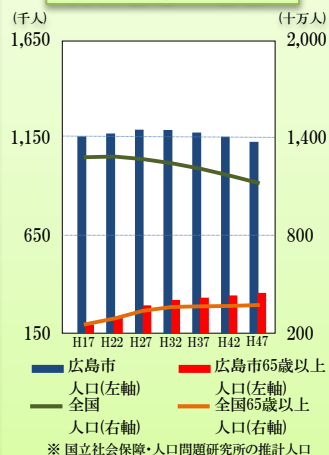
各地方公共団体ホームページより

市の概要

人口 1,196,274人

(平成28年8月1日推計人口)

人口推移・推計



面積 906.53 km²

(平成27年10月1日現在)

気象

平均気温 16.6℃

年間降水量 1,641mm

いわゆる「瀬戸内気候区」に属しており、冬は瀬戸内海に流れ込む暖流の影響もあり、比較的温和な気候です。

略年表

- 明治22年 市制施行
- 昭和20年 原子爆弾により壊滅
- 昭和24年 「広島平和記念都市建設法」公布
- 昭和55年 政令指定都市広島誕生
- 昭和60年 人口100万人突破
- 平成元年 市制施行100周年
- 平成6年 第12回アジア競技大会広島開催
- 平成21年 (新) 広島市民球場開設
- 平成22年 政令指定都市移行30周年
- 平成23年 松井市長就任(平成27年4月再任)



絵下山から臨む広島湾の夕焼け



平和記念公園



太田川デルタ



広島みなと夢花火大会

交通アクセス

～広島市ってこんなまち～



○広島市への交通アクセス



(飛行機で広島空港まで)

札幌	約2時間
仙台	約1時間30分
東京	約1時間20分
沖縄	約1時間40分



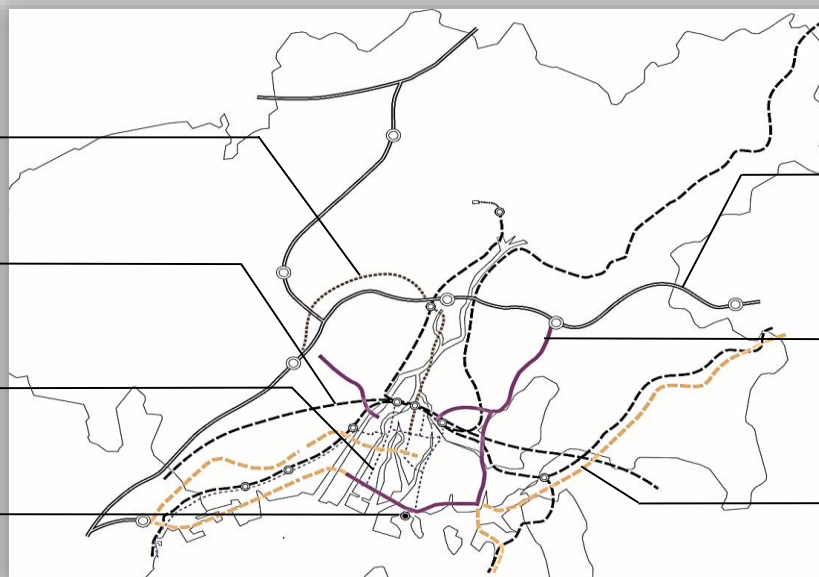
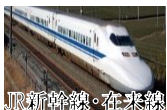
(新幹線で広島駅まで)

仙台	約6時間
東京	約4時間
名古屋	約2時間20分
新大阪	約1時間30分
博多	約1時間
鹿児島	約2時間30分

※広島空港から広島市内中心部まで
リムジンバスで約50分

○広島市内交通

【鉄軌道系交通機関等】



【自動車専用道路網】

※写真提供: NEXCO西日本

広島「顔」である都心の求心力をいっそう高めるため、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を中心に、都市基盤の再整備や多様な都市機能の集約などを図り、二つの核が相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を進めます。

中四国地方
最大の商業・
業務地である



紙屋町・八丁堀地区では、
回遊性やにぎわいをより一
層高め、都心の魅力づくり
をリードするまちづくりを
進めます。

紙屋町・八丁堀地区

「知の拠点」
の再生に向
けて、各種
都市機能の集積を進めま
す。



広島大学本部跡地



広島駅周辺地区



中四国地方
最大の旅客
施設である
JR広島駅

を中心とした広島駅周辺地区
では、広域的な交通結節点と
しての機能強化や市街地再開
発事業の実施による都心の活
力向上など、広島の陸の玄関
にふさわしいまちづくりを進
めます。

広島駅周辺地区



二葉の里地区土地区画整理事業



若草町地区市街地再開発事業



広島駅自由通路等整備事業



広島駅南口広場の再整備等事業

『楕円形の都心づくり』を実現するために、公共交通を中心とした都市内交通の円滑化、中でも東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区のアクセス性の向上などの公共交通を中心とした都市内交通の円滑化を進めています。



広島駅南口Bブロック市街地再開発事業



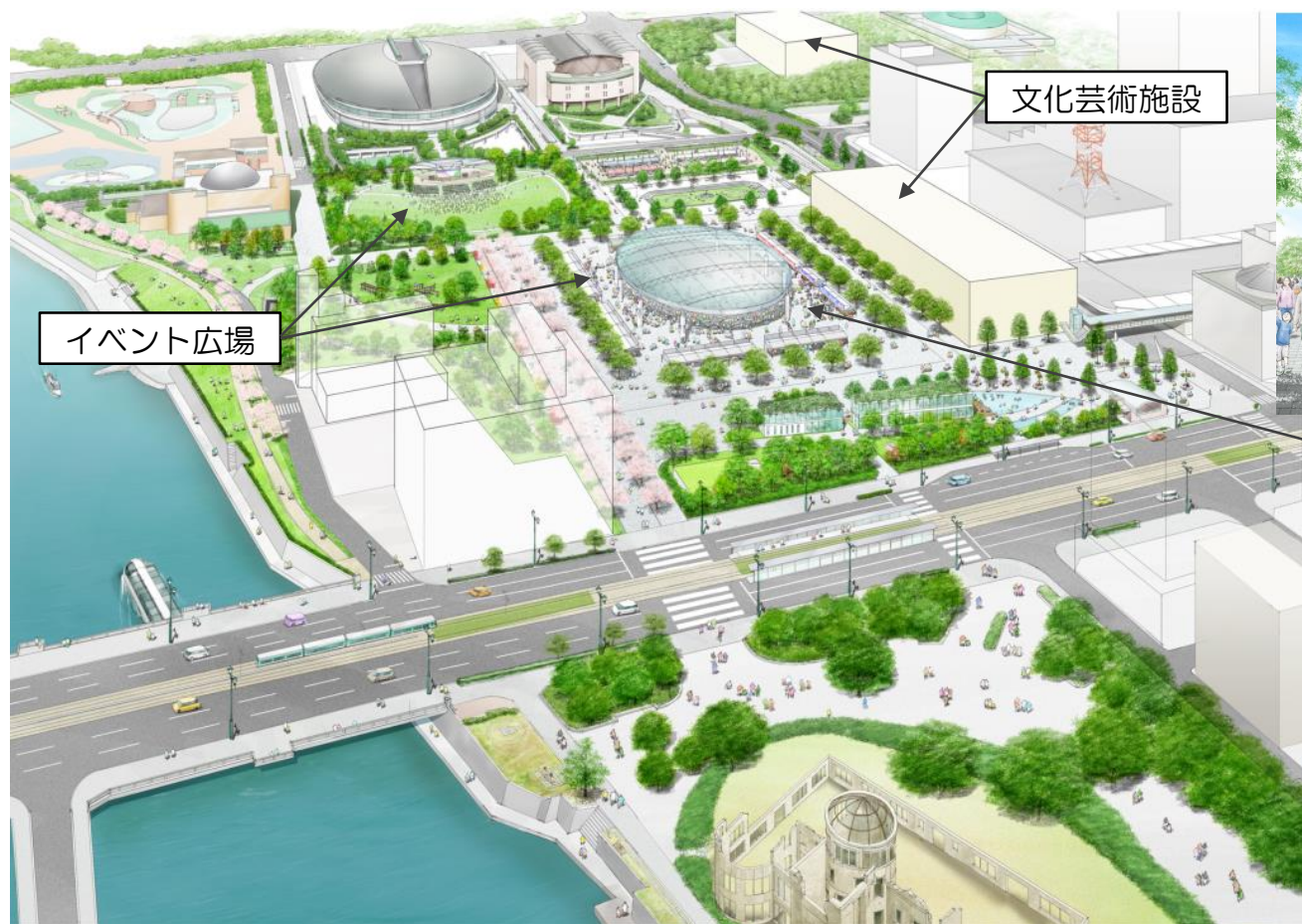
広島駅南口Cブロック市街地再開発事業



広島市民球場周辺地区開発事業

集客施設等の整備により球場と一体となったにぎわい空間の創出を図るほか、広島駅南口地区と球場とを結ぶ歩行者用道路の整備を進めています。

紙屋町・八丁堀地区(旧広島市民球場跡地の活用)



屋根付きイベント広場イメージ

今後の取組

球場跡地については、サッカースタジアムの候補地の一つとなっていることから、サッカースタジアムの候補地の決定のプロセスを見極めつつ、活用の具体化に向けた検討に取り組みます。

平和記念公園とのつながりを考慮し、緑豊かなオープンスペースを中心とした空間とするとともに、多様なイベントが開催できる空間とします。

市のまちづくり

～楕円形の都心づくり～

広島大学本部跡地



広島ナレッジシェアパークは、知の育成支援機能（学生・留学生向け賃貸住宅など）を重視した計画です。その他にも、さまざまな年代層の人が住めるように、ファミリー層やシニア向けの住宅、スポーツクラブなどを整備し、地区の内外からの利用者によるにぎわいの創出も期待できます。

施設名	内容	完成（予定）
ナレッジシェアファーム	学生・留学生向け賃貸住宅（145戸）、学生の就職・アルバイト・ボランティア活動支援窓口、ベンチャー支援オフィス、医療福祉人材サポートセンター、CG・WEBクリエイター養成スクールなど	平成29年
ナレッジシェアプラザ	多目的室、音楽室、キッチンスタジオ など	平成32年
分譲マンション	分譲住宅（665戸） 地上54階地下1階	平成32年
ナレッジシェアコミュニティ	軽費老人ホーム、託児施設、カフェレストラン など	平成28年
スポーツクラブ	スポーツクラブ	平成28年
病院	脳神経疾患専門病院	平成28年
カーライフパーク	カーディーラー	平成28年



1 ひろしま西風新都の概要

ひろしま西風新都の都市づくりは、広島市の中心部から北西約5～10kmの位置に広がる丘陵地約4,570ヘクタールを対象とする大規模プロジェクトであり、平成元年に都市づくりがスタートし、現在では「住み、働き、学び、憩う」という四つの機能を備えた魅力ある都市に成長しています。平成25年6月には、都市機能の強化、産業の振興などの視点に立って、民間の投資意欲を喚起するよう全体計画を抜本的に見直した「活力創造都市“ひろしま西風新都”推進計画2013」を策定し、都市機能に「護る（防災）」機能を導入しており、2030年の概成を目指して、さらなる都市機能の充実・強化を進めています。

「住む」機能・・・宅地開発の促進、特色ある景観の形成などにより、居住地としての魅力向上を図る。

「働く」機能・・・産業系団地開発の促進や「広島市企業立地促進補助制度」の活用などにより、幅広い業種の企業誘致の推進し、新たな雇用の場の創出を図る。

「学ぶ」機能・・・西風新都内の大学における公衆講堂の拡充、図書館などの大学施設の一般開放などにより、学習機会の充実を図る。

「憩う」機能・・・広島広域公園などの資源を地域レベルのイベントに積極的に活用することなどにより、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。

「護る」機能・・・立地特性を生かし、デルタ市街地にある防災拠点施設の代替機能の導入などについて検討を進め、市域全体の防災力の向上を図る。

- 人口 53,739人（H28.8末現在）
- 事業所数 1,454社（H24経済センサス）
- 従業者数 17,978人（ 〃 ）
- 西風新都内の施設
広島広域公園、広島市立大学等（大学3校、大学院2校、専門学校5校）

2 交通アクセス

- 広島空港へは五日市インターチェンジから約40分。
- 域内ほぼ中央に、山陽自動車道「五日市インターチェンジ」、中央よりやや北に山陽自動車道と中国自動車道を結ぶ広島自動車道「西風新都インターチェンジ」二つのインターチェンジがあり、高速道路の利点をフルに生かせる。
- 広島高速4号線を利用することで、広島市中心部まで車で約15分。



市のまちづくり

～広島高速道路の整備～

平成9年6月 広島高速道路公社設立

整備計画(H26.3許可)延長 29.0km

供用区間延長 25.0km

高速4号線広島西大橋



高速5号線広島駅北口IC(仮称)
完成予想図



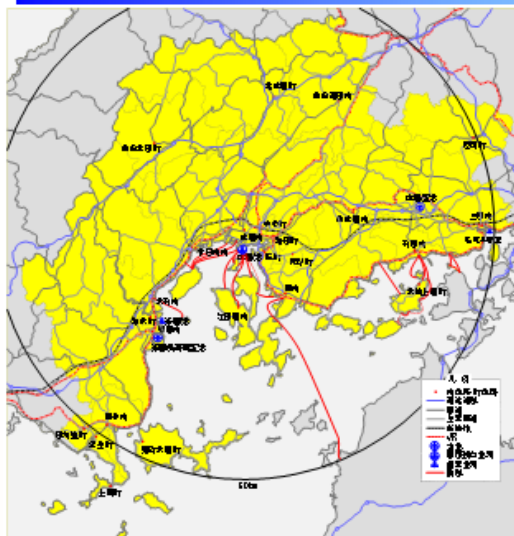
高速3号線宇品大橋



凡 例	整備計画路線	
	供用区間	
	事業中区間	
	整備ランプ	
	先送りランプ	
	基本計画路線	
	公共事業整備区間	
	計画検討路線	



200万人広島都市圏構想



広島広域都市圏の人口
(広島広域都市圏協議会の24市町)
2010年：234万人

2040年：196万人(国の推計)

「連携中枢都市圏」制度
を活用した施策展開により
圏域人口200万人超の維持
を目指す

生活面

どこに住んでも安心して暮らしやすい都市圏

広域的公共交通網の充実・強化



経済面

ヒト・モノ・カネ・情報が巡る都市圏

「ローカル経済圏」の構築



行政面

住民の満足度が高い行政サービスを展開できる都市圏

施策の共同実施や行政資源の相互利用



市のまちづくり

～広島市の特徴ある行政施策～

広域拠点（中枢都市）としての取組

「世界に誇れる『まち』広島」
人口ビジョン・創生総合戦略

人口ビジョン

- 人口の現状分析、市民等の意識・希望の分析
- 目指すべき将来の方向を踏まえた人口の将来展望

→人口規模と経済力等を兼ね備えた「まち」であり続けるために、「若い世代の人口の確保」と「出生率の向上」を実現する

総合戦略

- 四つの基本目標の下、施策を着実に実施する
 - ①中四国地方のエンジンにふさわしい都市機能の充実強化
 - ②すべての人にとっての“ディーセント・ワーク”の創出
 - ③子どもと子育てに優しいまちの実現に向けた切れ目のない支援
 - ④誰もが住みたくするまちに、まちの安心とブランド力の向上

防災・減災のまちづくり

平成26年8月20日に発生した豪雨災害への対応



【雨量及び被害状況】

- 最大時間雨量
87ミリ（高瀬雨量観測局）安佐南区
121ミリ（三入東雨量観測局）安佐北区
- 人的被害
死者77人、負傷者68人
- 物的被害（住家）

全壊	179件
半壊	217件
一部破損	189件
床上浸水	1,084件
床下浸水	3,080件
合計	4,749件

【これまでの対応経緯】

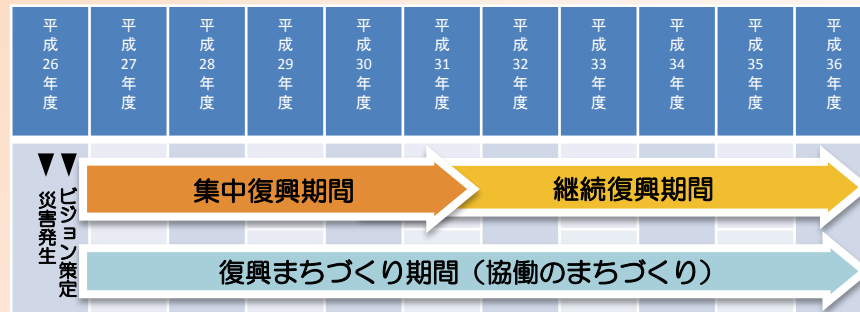
- 平成26年 8月20日 豪雨災害発生
- 9月19日 国が砂防堰堤等の緊急事業の実施を決定
- 10月 7日 豪雨災害復興まちづくり本部設置
- 10月10日 第1回本部会議開催
- 11月22日 国が砂防堰堤等の緊急事業の実施に伴い、進入路工事に着手
- 平成27年 3月25日 復興まちづくりビジョン策定・公表
- 4月 1日 復興工事事務所の開設（本格的な復興事業がスタート）
- 7月 都市計画道路[可部大毛寺線]の整備に伴う用地買収に着手
- 10月 都市計画道路[長束八木線]の整備に伴う用地買収に着手
- 平成28年 3月末 国が緊急事業として行う砂防堰堤工事25基のうち17基が完了

「復興まちづくりビジョン」

■平成26年8月20日の豪雨により被災した地域を災害に強い安全なまちにふみがえらせるという観点に立ち、防災・減災のための施設整備など被災地域のまちづくりの骨格とその実現に向けた実施方針を示すものです。

■対象地区：安佐南区八木・緑井地区、山本地区

安佐北区可部東地区、三入南・桐原地区、大林地区



保育の充実

- ・私立保育園等ICT化推進事業
- ・保育補助者雇上強化事業



高齢者支援

- ・地域介護予防拠点整備促進事業
- ・高齢者地域支え合いモデル事業



産業振興・雇用促進

- ・創業特別窓口相談の実施
- ・働く女性・若者のための就労環境整備の推進



平和への思い

- ・平和記念資料館再整備事業
- ・被爆体験伝承者の養成



「財政運営方針」の達成状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

「財政運営方針」の3つの基本方針

持続可能な財政構造を確立する財政運営

地域の活力を生み出す財政運営

将来世代への責任を果たす財政運営

計画期間内の目標（計画期間：平成24年度～平成27年度）

収支不足の解消

中期財政収支見通しで見込まれた収支不足の解消を図る。

財政調整基金を概ね75億円確保

今後の社会経済情勢の変動にも柔軟に対応できるように、平成27年度末までには概ね75億円となるようにする。

市債残高の抑制

臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額を除いた市債残高を、今後4年間で8%減少させる。

目標の達成状況（計画期間：平成24年度～平成27年度）

収支不足を解消

各年度実質収支は黒字を確保し、収支不足は生じていない。平成27年度の実質収支は24億円の黒字。

財政調整基金を概ね92億円確保

平成27年度末において、目標を上回る92億円の基金残高となっている。

市債残高を抑制

臨時財政対策債等控除後残高について、4年間で7.1%減少させたが、目標額には65億円届かなかった。

目標額を上回った要因は、土地開発公社に係る債務を抜本的に解消するため平成24年度に第三セクター等改革推進債を発行したためであり、その影響額は147億円となっている。

特別会計・企業会計決算の状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

平成27年度決算（特別会計）

（単位：百万円）

会計名	歳入 A	歳出 B	差引額 (A-B) C	翌年度繰越分 充当財源 D	実質収支 (C-D)	一般会計 からの繰入
特 別 会 計	430,382	428,250	2,132	37	2,095	124,404
住 宅 資 金 貸 付	11	11	-	-	-	-
母子父子寡婦福祉資金貸付	725	545	180	-	180	38
物 品 調 達	63	44	19	-	19	-
公 債 管 理	154,185	154,185	-	-	-	96,984
広 島 市 民 球 場	912	912	-	-	-	43
用 地 先 行 取 得	11	11	-	-	-	-
西 風 新 都	938	938	-	-	-	-
後 期 高 齢 者 医 療	12,002	11,714	288	-	288	2,022
介 護 保 険	85,022	84,157	865	-	865	12,263
国 民 健 康 保 険	145,650	145,650	-	-	-	11,517
競 輪	12,752	12,009	743	-	743	-
中 央 卸 売 市 場	3,496	3,487	9	9	-	1,513
国 民 宿 舎 湯 来 ロ ッ ジ 等	66	66	-	-	-	24
駐 車 場	614	586	28	28	-	-
開 発	7,148	7,148	-	-	-	-
市 立 病 院 機 構 資 金 貸 付	6,787	6,787	-	-	-	-
財 産 区 会 計	20	1	19	-	19	-
元 宇 品 町 財 産 区	2	1	1	-	1	-
三 入 財 産 区	7	-	7	-	7	-
砂 谷 財 産 区	11	-	11	-	11	-
合 計	430,402	428,251	2,151	37	2,114	124,404

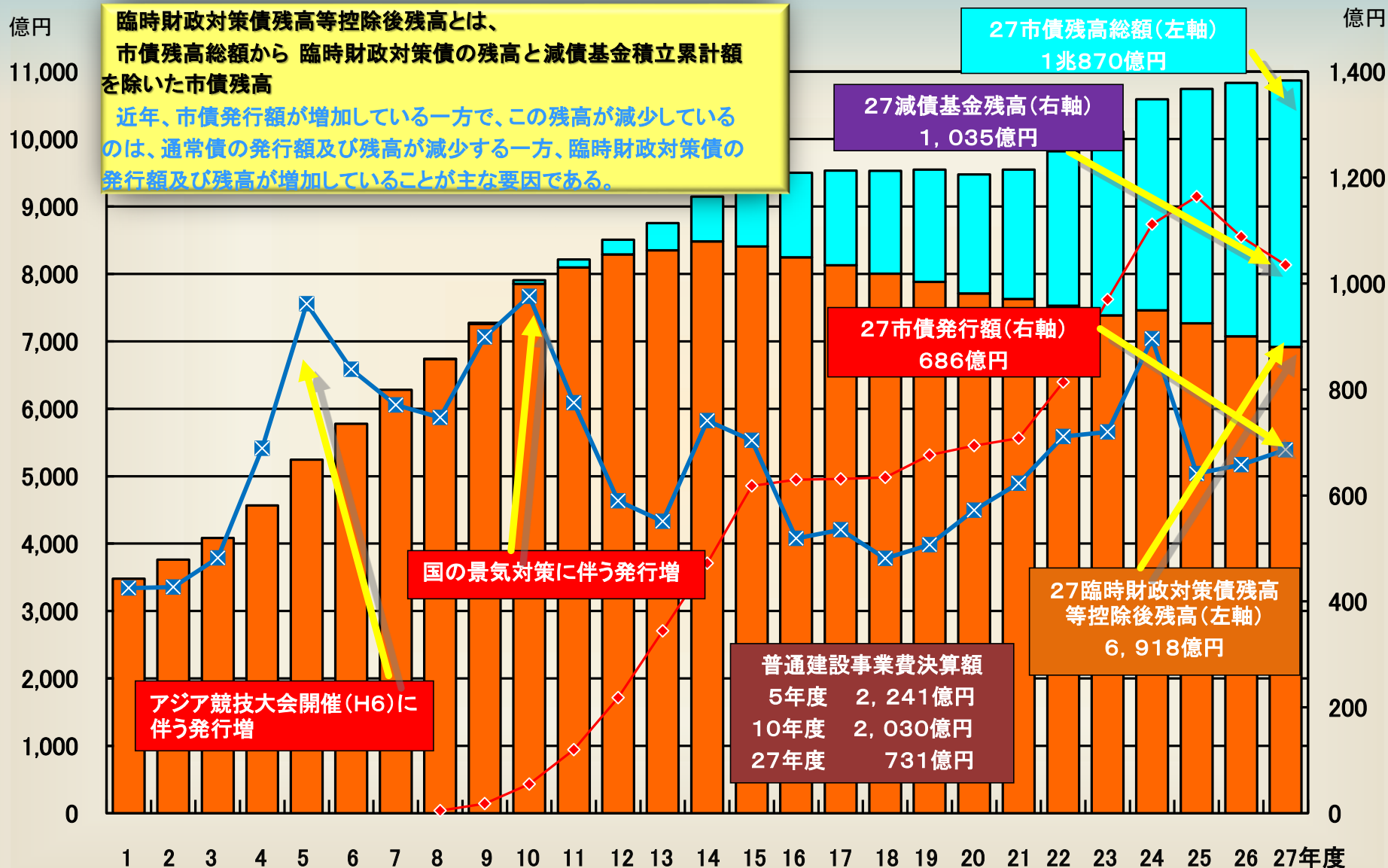
平成27年度決算（企業会計）

（単位：百万円）

区 分	収益的収支(損益勘定)			資本的収支(資本勘定)					
	収 入	支 出	収支差引	収 入	企 業 債	支 出	企 業 債 償 還 金	収支差引	補填財源
水 道 事 業	24,152	21,857	2,295	3,937	3,545	12,259	5,863	▲ 8,322	8,322
下 水 道 事 業	45,979	45,086	893	40,951	28,677	59,306	44,341	▲ 18,355	18,355
安芸市民病院事業	2,105	2,103	2	148	57	185	130	▲ 37	37
合 計	72,236	69,046	3,190	45,036	32,279	71,750	50,334	▲26,714	26,714

一般会計の市債発行額と残高の推移

～広島市の財政状況と健全化への取組～

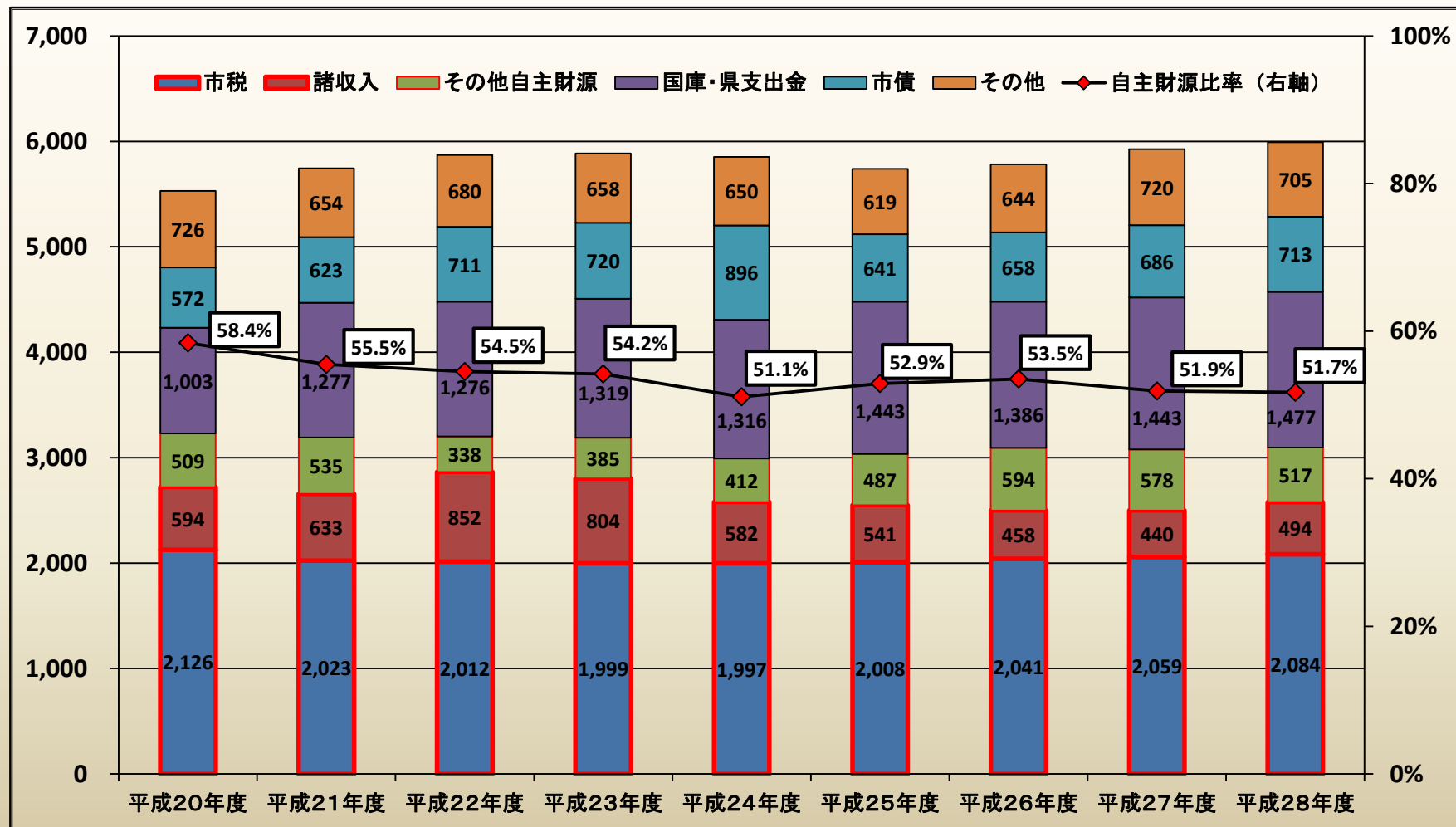


歳入構造(一般会計)

～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 平成27年度一般会計決算の自主財源比率は51.9%で、自主財源の66.9%が市税である。
- 自主財源比率は50%～60%の間で推移し、平成28年度当初予算では51.7%になっている。

億円

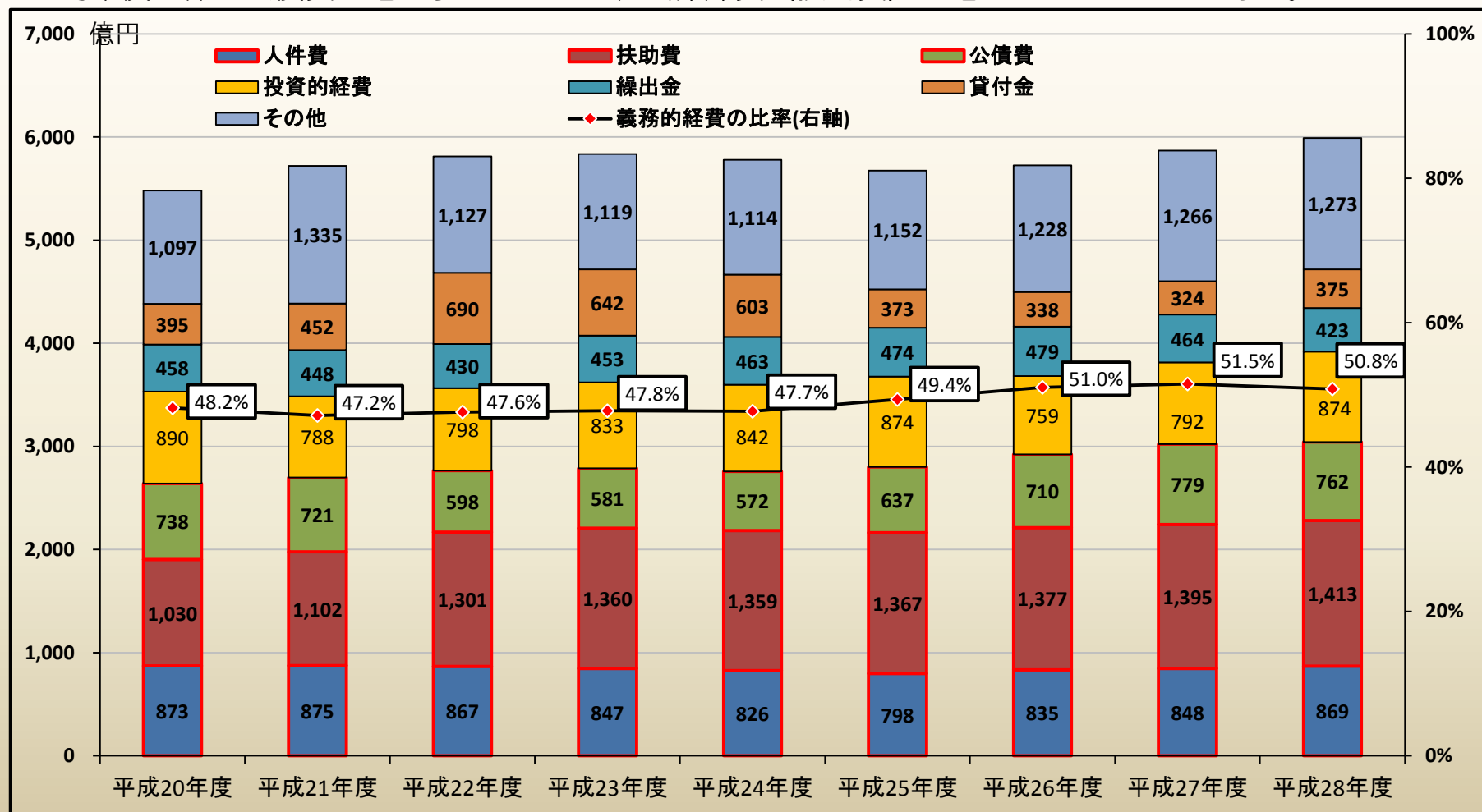


※ 平成27年度までは決算額、平成28年度は当初予算額

歳出構造(一般会計)

～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 平成27年度一般会計決算の義務的経費比率は51.5%で、義務的経費の46.2%は扶助費である。
- 義務的経費比率は概ね5割程度で、徐々に上昇傾向にあるが、これは交付税の振替わりである臨時財政対策債に係る公債費が増加するとともに社会保障費（扶助費）が増加しているためである。

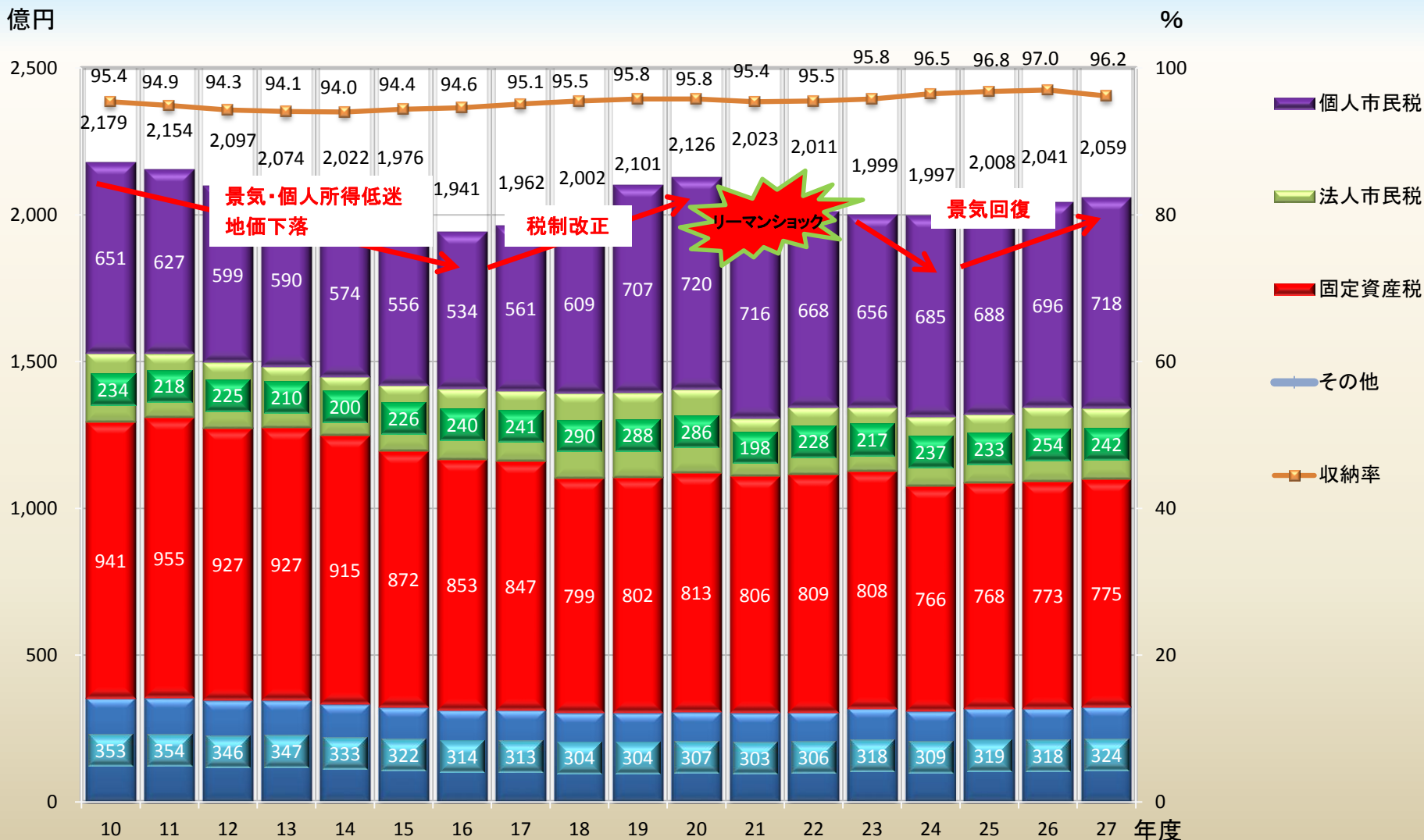


※ 平成27年度までは決算額、平成28年度は当初予算額

市税収入決算の推移

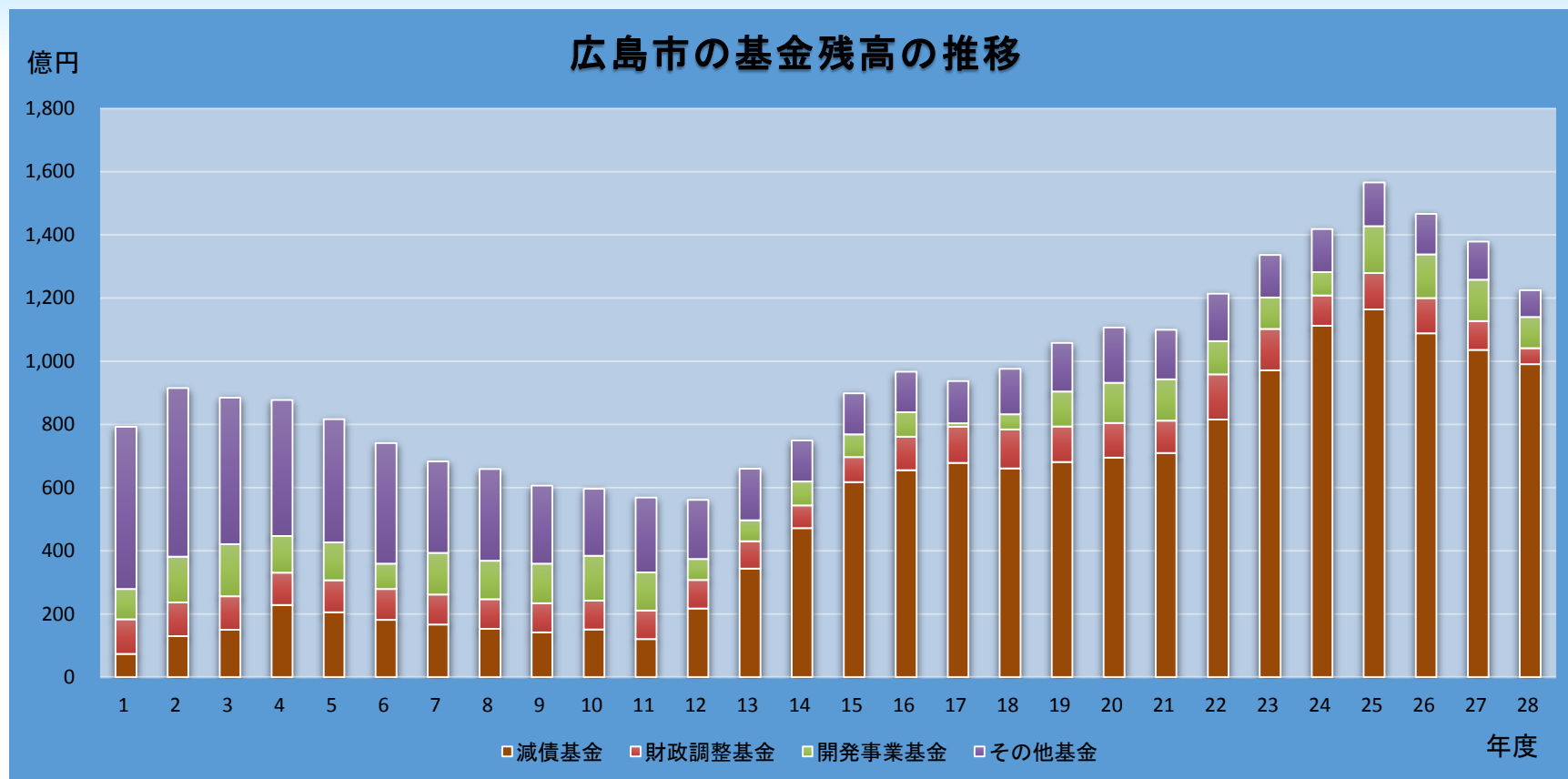
～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 景気の動向や税制改正の影響を受けて、市税は増減。収納率は、近年ほぼ横ばい。



基金残高の推移

～広島市の財政状況と健全化への取組～



※ 平成28年度は、当初予算における見込み。

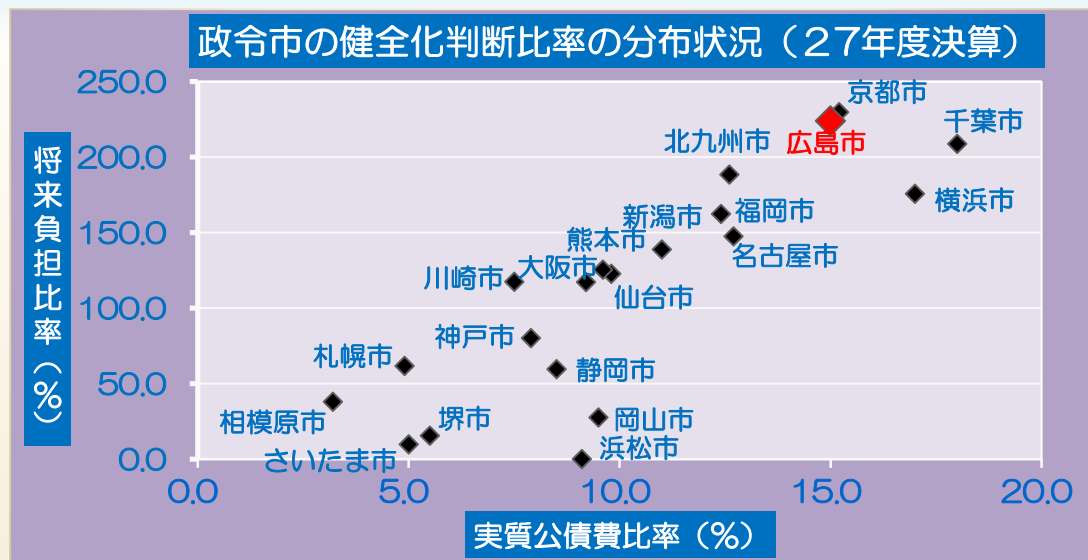
- 平成27年度末の全基金残高は1, 379億円
- 財政運営方針の目標として、財政調整基金の残高については、平成31年度末で75億円を確保する予定

健全化判断比率の状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 実質公債費比率、将来負担比率とも基準値に達していない。

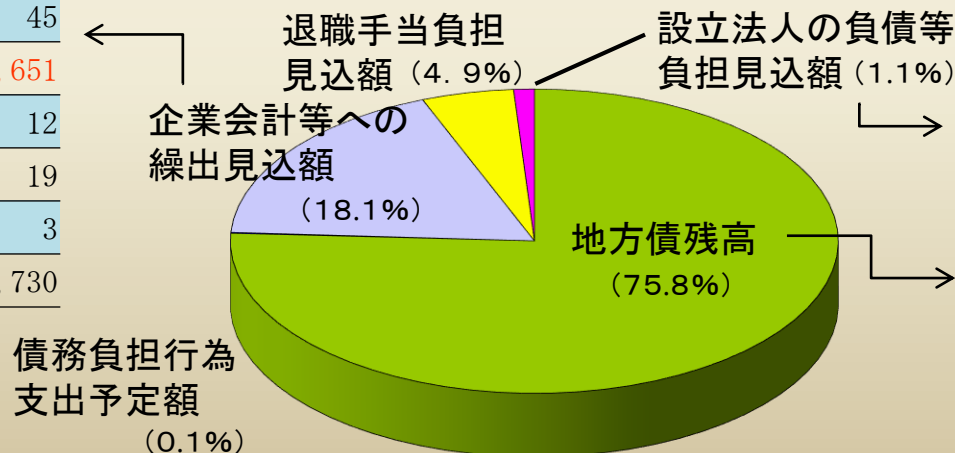
区分	広島市の状況	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	11.25	20.00
連結実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	16.25	30.00
実質公債費比率	15.0	25.0	35.0
将来負担比率	223.9	400.0	



(億円)

水道事業	45
下水道事業	2,651
安芸市民病院事業	12
中央卸売市場事業	19
その他	3
合計	2,730

将来負担額(27年度算定) 15,055億円



(億円)

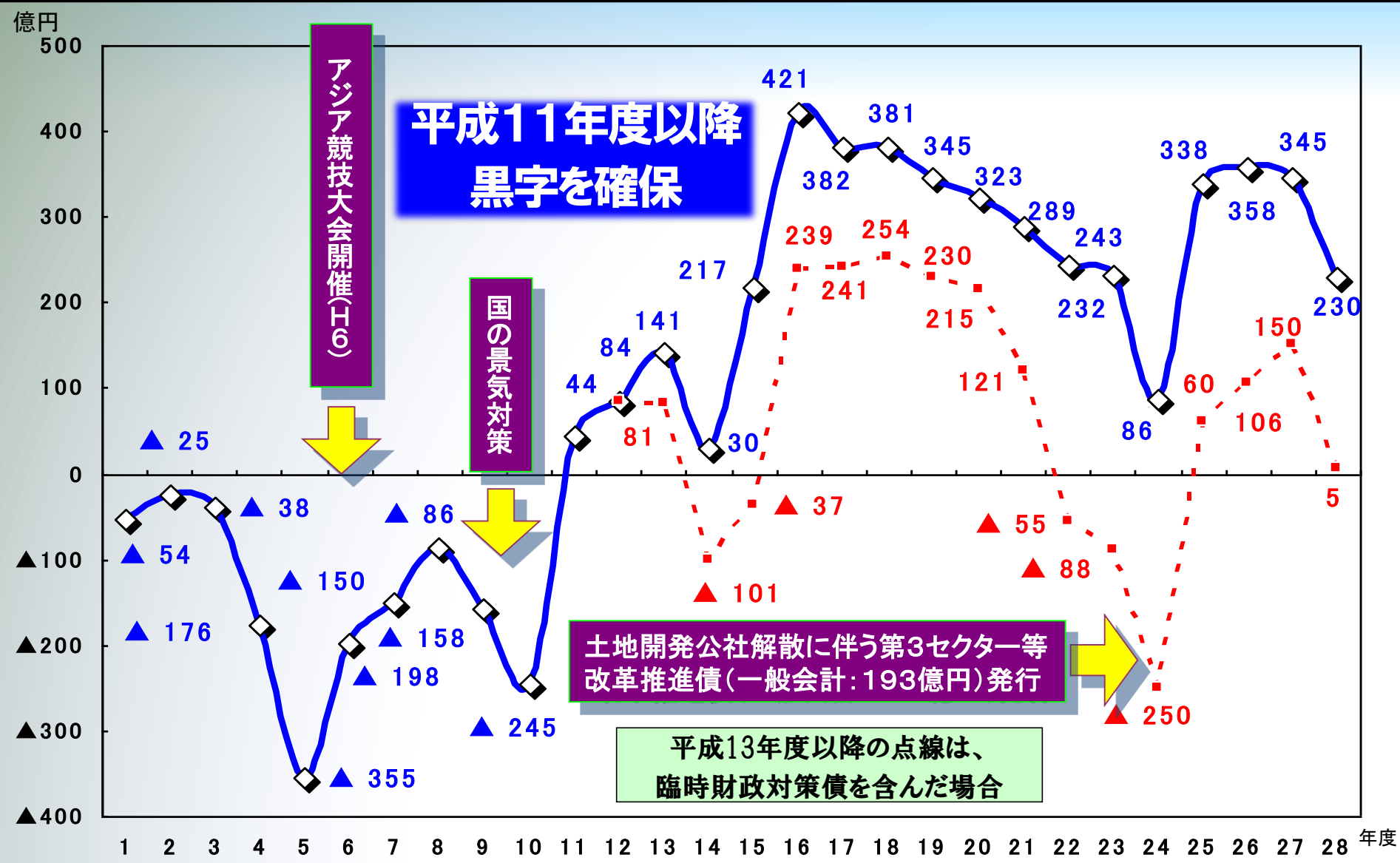
広島地下街開発(株)	13
広島高速交通(株)	140
その他	10
合計	163

(億円)

一般会計債	10,870
うち道路橋りょう・都市計画事業債	3,984
うち臨時財政対策債	3,031
うち教育関係事業債	993
特別会計債	538
合計	11,408

プライマリーバランス

～広島市の財政状況と健全化への取組～



新たな「財政運営方針」の概要

「財政運営方針」の3つの基本方針

都市としての活力を生み出す財政運営

まちづくりを支え続けることができる財政運営

将来のまちづくりを見据えた財政運営

計画期間内の目標（計画期間：平成28年度～平成31年度）

収支の均衡

中期財政収支見通しで見込まれた収支不足を解消するとともに、財政調整基金の期間末残高概ね75億円を維持し、計画期間における収支の均衡を図る。

市債残高の抑制

臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額を除いた市債残高を、今後4年間で1割程度減少させる。

基本方針に基づく取組

歳入面の取組

- ・市税収入等の確保（収納率の向上）
- ・受益者負担の適正化（使用料や減免制度等の見直し）
- ・地域経済の活性化・雇用創出等による税源のかん養
- ・地方税財政制度の改善に向けた積極的行動

その他の収支不足解消策

- ・未利用地等の売却促進・市有資産の有効活用
- ・行政改革推進債等の発行 等

歳出面の取組

- ・人件費の削減
- ・社会保障費の増加の抑制
- ・事務・事業の見直し
- ・内部管理経費の節減等
- ・公債費等の見直し
- ・投資的経費の見直し

主な出資団体(第3セクター)の経営状況 ~広島市の財政状況と健全化への取組~

〔平成27年度〕

(単位:百万円)

区 分		株 式 会 社				
		広島高速道路公社	広島市流通センター	広島高速交通	広島駅南口開発	広島地下街開発
出 資	資本金	79,455	1,000	10,000	5,960	100
	うち本市出資額	39,727	700	5,100	3,762	-
	(出資比率%)	(50.0)	(70.0)	(51.0)	(63.1)	(43.3)
貸借対照表	流動資産	5,403	61	2,983	1,160	731
	固定資産	369,456	4,103	32,335	31,246	13,013
	繰延資産	213	0	0	0	0
	資産合計	375,072	4,164	35,318	32,406	13,744
	流動負債	18,324	275	17,528	921	6,543
	固定負債	228,139	515	18,248	26,661	13,661
	特別法上の引当金等	49,020	0	0	0	0
	負債合計	295,483	790	35,776	27,582	20,204
	純資産	79,455	1,000	10,000	5,960	100
	剰余金等	134	2,374	▲ 10,458	▲ 1,136	▲ 6,560
	純資産合計	79,589	3,374	▲ 458	4,824	▲ 6,460
	負債・純資産合計	375,072	4,164	35,318	32,406	13,744
損益計算書	営業収益 a	11,615	416	4,915	2,362	1,175
	営業費用等 b	9,657	238	4,212	1,497	1,163
	営業利益 c=a-b	1,958	178	703	865	12
	営業外収益 d	49	1	10	7	8
	営業外費用 e	2,007	16	88	377	77
	経常利益 c+d-e	0	163	625	495	▲ 57
	特別損益	0	0	0	▲ 1	▲ 1
	当期利益(税引前)	0	163	625	494	▲ 58
	当期利益(税引後)	0	108	551	337	▲ 58
	<参考>前期利益(税引後)	<0>	<104>	<349>	<96>	<▲ 26>

※ 広島地下街開発(株)は、平成22年度に資本金を1億円に減資しているが、本市の出資比率は、従前同様43.3%である。

主な出資団体(第3セクター)の経営状況 ~広島市の財政状況と健全化への取組~

【経営状況説明】

広島高速道路公社

- ◆整備計画に定める5つの路線のうち最後の路線となる高速5号線の平成32年度完成に向け、平成28年度は用地買収及びトンネル工事等を進めていく。

広島市流通センター(株)

- ◆運輸業界は輸送量の減少やドライバー不足などにより厳しい経営環境が続いたものの、当センターはトラックターミナルへの新規テナントの入居等により平成27年度も引き続き黒字を確保した。

広島高速交通(株)

- ◆平成26年度に開業した新白島駅により年間を通して通勤及び学生定期利用が好調だったことに加え、Jリーグ観戦に対応した列車の増発などにより1日平均利用者数は60,778人(対前年度比11.2%増)、1日平均運輸収入は1,162万円(対前年度比10.8%増)となり4年連続で黒字を達成するとともに、黒字幅も拡大した。
- ◆今後は、沿線事業者との連携による利用者増、経費節減などにより、黒字を継続し、債務超過解消を目指す。

広島駅南口開発(株)

- ◆平成17年度に策定した経営改善スキームにより、平成17年度以降当期損益は概ね黒字を維持。
- ◆平成27年度は、中期修繕計画に基づく大型設備の修繕工事のピークが過ぎたことによる修繕費の減少及び減価償却費の減少などにより、売上原価は対前年度4.2億円減の14.2億円となり、これにより営業利益は対前年度4.1億円増の8.6億円を計上し、前年度に続き黒字を達成した。

広島地下街開発(株)

- ◆平成17年度に、固定資産の減損処理を実施したことで債務超過に。
- ◆平成22年度に減資することで累積損失を圧縮するとともに、平成17年度に策定した経営改善スキームにより資金繰りを改善、安定的な経営を目指す。

起債運営方針

資金調達の方針 ~ 政府資金等から民間資金へ ~

「市場公募債の安定消化の継続」

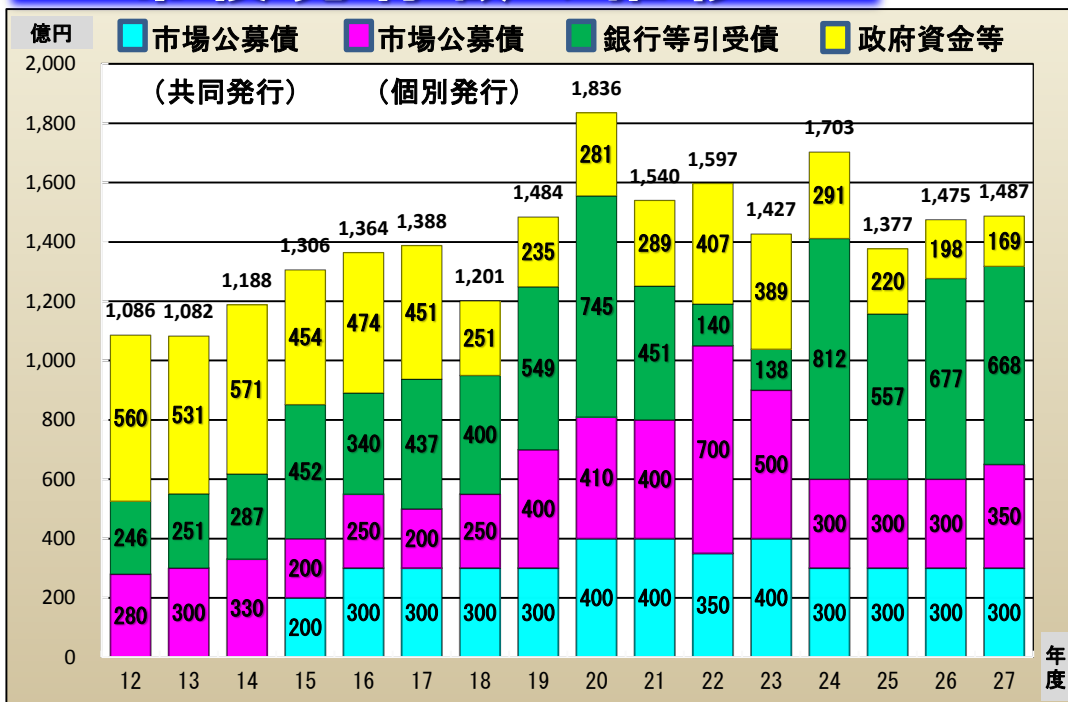
- 全国型市場公募債(10年債)を昭和57年度から継続して発行、平成22年度から5年債も発行
- 共同発行市場公募債の発行に平成15年度から参加

「公債費抑制のための取組」 (財政運営方針)

- 臨時財政対策債等控除後の市債残高について、平成31年度までの4年間で1割程度の減少を目指す。

市債発行額の推移

市債の直近の発行実績



回号	年限	発行日	発行額	表面利率	応募者利回り
平成27年度第1回	5年	H27.10.26	100億円	0.116%	0.116%
平成27年度第2回	10年	H27.12.25	150億円	0.464%	0.464%
平成27年度第3回	5年	H28.2.25	100億円	0.051%	0.051%
平成28年度第1回	5年	H28.6.24	100億円	0.005%	0.005%
平成28年度第2回	10年	H28.8.25	100億円	0.070%	0.070%

平成28年度発行計画

平成28年度広島市債発行計画

※単位:億円、発行額は全会計ベース(借換債含む。)

市場公募債	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別発行	5年			100				100						200
	10年					100				150		100		350
共同発行	10年			30			20		30			20		100
合計		0	0	130	0	100	20	100	30	150	0	120	0	650

広島市債引受シンジケート団

5年債

銀行団		証券団	
金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
広島銀行	19.5	野村證券	11.0
みずほ銀行	16.0	大和証券	10.0
三井住友銀行	1.0	S M B C日興証券	10.0
三菱東京UFJ銀行	1.5	みずほ証券	9.5
新生銀行	2.0	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
三井住友信託銀行	0.5	岡三証券	2.0
もみじ銀行	6.5	東洋証券	1.5
広島信用金庫	3.0	丸三証券	1.0
計[8]	50.0	計[8]	50.0

10年債

銀行団		証券団	
金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
広島銀行	19.5	野村證券	11.0
みずほ銀行	16.0	大和証券	10.0
三井住友銀行	1.0	S M B C日興証券	10.0
三菱東京UFJ銀行	1.5	みずほ証券	9.5
新生銀行	2.0	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
三井住友信託銀行	0.5	岡三証券	2.0
もみじ銀行	6.5	東洋証券	1.5
広島信用金庫	3.0	丸三証券	1.0
計[8]	50.0	計[8]	50.0

- 借入予定総額は1,598億円
うち民間資金借入予定額は1,386億円
(全体の86.7%)
- 市場公募債の発行予定総額は650億円
(全体の40.7%)
うち広島市個別発行分は550億円
(全体の84.6%)
- 銀行等引受債の発行予定額は736億円
(全体の46.1%)

広島を世界に誇れる「まち」に

「対話・ビジョン・実行」によって市政に活力を生み出す

対 話

広島の「秘めたる力」を引き出す一連の対応や行動

ビジョン

夢であると同時に展望であり、実現するためのもの

実 行

ビジョンを大切にしながら、今置かれた状況に真剣に向き合い、確実に実現

【本資料に関するお問い合わせ先】

広島市財政局財政課資金係

TEL 082-504-2074、FAX 082-504-2099

E-mail zaisei@city.hiroshima.lg.jp

HP <http://www.city.hiroshima.lg.jp/index2.html>

トップページ ➡ 市政全般 ➡ 広島市の概要 ➡ 市の財政 ➡ 市債・投資家情報

- 本資料は、広島市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、広島市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売り出しまたは募集を意図するものではありません。
- 本資料中、平成27年度決算に係る数値等については平成28年10月時点での見込みであり、今後変更となる可能性があります。